

「社協」は、みなさんの参加とささえあいでの地域福祉をすすめる福祉団体です。

ホームページアドレス
<http://www.yokosuka-shakyo.or.jp/shakyo/>



編集・発行 季刊

社会福祉法人
横須賀市
社会福祉協議会
〒238-0041
横須賀市本町2-1
TEL. 046-824-3435
046-821-1301
FAX. 046-827-0264

今年もやります！「やさしさ広がれ」ふれあいフェスティバル2010

市民一人ひとりが連帯感のあるあたたかい福祉のまちづくりを目指し、楽しみながら福祉について考え、行動していくことを目的として開催する市民協働型イベント・ふれあいフェスティバル。

15回目になる今年も、市内の福祉施設、障害者地域作業所、ボランティア団体、市民グループ、企業などが参加して、子どもからお年寄りまで、障害のある人もない人も、ファミリーも一日楽しめる多彩なイベントが50種類以上行われます。

内 容：盲導犬・介助犬デモンストレーション、福祉バザー、地域作業所の作品販売、手話や要約筆記等の体験コーナー、布おもちゃ・布えほん「みて さわって 遊ぼう」コーナー、おもちゃの病院・おもちゃ作りの体験、横須賀市社会福祉大会 ほか

問合せ：「やさしさ広がれ」ふれあいフェスティバル実行委員会(市社協地域福祉課 TEL 821-1301)

※当日は駐車場を使用できないため、ご来場の際は公共の交通機関をご利用ください。

* ボランティアも同時募集中です (8頁)

地域福祉活動計画にもとづいて展開します 平成22年度横須賀市社会福祉協議会の主な事業

「横須賀市社会福祉協議会 地域福祉活動計画(第3次:平成20年度~24年度の5カ年)」の3年目にあたり、平成22年度も多くの方の参加と協力を得て、横須賀の地域福祉を進めていきます!



一人ひとりが地域や福祉への理解を深めるために

- 『よこすか社協だより』の発行(年4回/4・7・10・1月発行)
- ホームページによる情報提供(<http://www.yokosuka-shakyo.or.jp/shakyo/>)
- 福祉のまちづくり出張トーク ●「やさしさ広げ」ふれあいフェスティバルの開催(*1頁)
- 横須賀市社会福祉大会の開催 ●視聴覚・福祉イベント用具等の貸出



子どもの頃から地域や福祉にふれられる環境づくり

- 高校生福祉体験学習(はまゆうキャンプ) ●ふれあいキャンプ(*6頁)
- 小・中・高ボランティアスクール ●ボランティア体験学習(子ども・大人) **NEW!**



身近な地域における福祉活動を推進するために

- 地区社会福祉協議会活動の支援 ●地区ボランティアセンター活動の支援 ●社会福祉推進委員活動の推進
- 地域福祉活動計画策定モデル地区設置
- ふれあい・いきいきサロン、ふれあい子育てサロン活動の推進
- 地域イベントカレンダー作成モデル事業



さまざまなボランティア活動・市民活動を推進するために

- よこすかボランティアセンターの運営 ●『ボランティアニュース』の発行(年4回/5・8・11・2月発行)
- ホームページによる情報提供(<http://www.yokosuka-shakyo.or.jp/vc/>)
- 講座等の企画実践委員会の開催 ●場づくりサロンの開催 ●福祉機材等の貸出
- 布おもちゃ・布えほん貸出事業 ●布おもちゃ親子サロン「ポケット、ひろば」(*7頁)
- おもちゃの病院(*7頁) ●ハンディキャブ等による送迎活動事業(福祉有償運送事業) ●当事者活動の育成・支援



誰もが安心して生活できるために

- 日常生活自立支援事業 ●法人による成年後見 ●よこすか市民後見人等運営事業
- 相談事業(生活福祉資金貸付・介護)(*8頁) ●生活福祉資金貸付事業 ●ふれあいお弁当事業
- 低所得者援護事業 ●福祉機器展示場の運営・介護ビデオの貸出
- 災害時ボランティアセンター推進事業 ●災害時要援護者支援検討会



多種・多様な機関・団体・個人の協働を推進するために

- 共同募金運動の推進(*4頁) ●地域福祉活動計画推進委員会(*4頁)
- 「よこすか福祉の輪市民会議」支援(よこすか地域福祉計画との協働事業)(*3頁、8頁)
- 湘南シーレックスチャリティシート招待事業(障害児者のレクリエーション支援)協力
- 横浜F・マリノス招待事業協力 **NEW!** ●企業関係者向けの調査会(仮称)



理解・対応が不足している問題に対応していくために

- 障害児余暇支援連絡会の開催
- いろいろな悩みを抱えている人たちのことを知る講座の開催

アップ
～地域の力をさらにUP!～

必見!

“小さな工夫 大きな一歩”⑥

みんなの願いを看板に込めて

住宅街の中の通りが車の抜け道となっていて、危険に感じている地域はありませんか。

東佐野第一区親睦会では、住民だけでなく地域の保育園に通ってくる親子の安全を確保するために、手作りの看板を設置しました。

きっかけは、保育園行事に招待された民生委員や地域住民と、園長との懇談。勢いよく走ってくる車につけながら登園する子どもたちの話題になり、話は地元の町内会役員たちに引き継がれました。役員たちは保育園と情報交換して、地域の安全のためにすぐに取り組めることを話し合い、看板を設置することにしました。

文字の型枠を作る人・書く人、絵を描いてくれた園児たち、材料や技術を無償で提供してくれた地域の建具屋さんやペンキ屋さん…住民と保育園が協力し合い、役割分担して作った看板は町内2ヶ所に設置され、「良いものができましたね」と住民や登園する親子からも好評です。

「それぞれの人が得意なことを活かして参加してくれたのは、今後も大きな力になると思います」と話すの

は東佐野第一区親睦会総務の山城さん。今回の取り組みによって、町内行事の案内をするなど保育園との結びつきが強まり、住民の間でも「みんなの保育園」という気持ちが一層高まったといいます。また、企画の段階で警察や市役所に相談したところ、行政サービスで対応できるものもあることが分かり、いろいろな情報を得ることもできたそうです。



市社協も応援しています! よこすか福祉の輪市民会議だより

〇仕組みづくりグループ

横須賀でも少子高齢化が進み、地域が抱える課題や問題は、年を追うごとに深刻に、しかも複雑になっています。また、行政や従来の制度では対応が難しい状況も生まれています。

仕組みづくりグループでは、地域の状況に応じた「ご近所同士がお互いに助け合い、支え合う仕組み」が必要と考えて、町内会ぐらいの範囲で取り組む「仕組み」について検討しています。

“地域の弱みや強みを知る。” “地域の未来の姿や目標を共有する。” “仲間を見つける、増やす。” など、身近な地域の中で助け合い、支えあう仕組みづくりを提案するマニュアルがもうすぐ完成予定です。

前号(122号)でご紹介した「よこすか安心カード」の作成様式が、市のホームページからダウンロードできるようになりました。(http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/chiiki_fukushi/index.html)



近日完成!



<土・日曜日>も開いています。

くらしの相談 相談は無料

お客様相談室

ご相談内容: 相続・年金・資産運用・税金・その他よろず相談をお受けしております。

お取り次ぎどころ

お取引店へ各種書類をお取り次ぎいたします。

横須賀中央駅前出張所 2階

フリーダイヤル 0120-046801

営業時間 午前10:00～午後7:00

お休み 12月31日から1月3日まで、および平日が休日の場合はお休みとさせていただきます。

TRi bank Miura Fujisawa 三浦藤沢信用金庫

「わたしがつくる みんなでつくる 一人ひとりが 住みやすい まち 横須賀」のために ②

～「地域福祉活動計画推進委員会」メンバーの思い～

＜NPO法人たけのこ会自立生活支援センター 相談業務スタッフ 石井徳秀さん＞

〇たけのこ会自立生活支援センターのスタッフとして

外出したい、一人暮らししたいなど障害のある人が望むこと、その実現のために必要なことを一緒に考え、支援するのが仕事です。自分も車いすを使っている、同じ立場で理解できることもあります。希望の内容、本人の生活環境などはそれぞれ違います。だから、時間がかかっても一つ一つ確認して、小さな経験を積み重ねて自信をつけることが、次につながっていくと思います。それにしても相手の気持ちを引き出すのは難しい。先輩にフォローしてもらったことが多く、常に勉強です。

〇今感じていること

「お互いさま」の気持ちが薄れていきますね。困っている人がいたら手伝うのが当たり前だったのに、今は自分第一、人と関わるのが煩わしいと思う人が多いのかな。でも「困っている人はもしかしたら自分かもしれない」と考えられないだろうか。自分も年をとる、事故や病気で車いすが手放せなくなるかもしれない…そう思えば、自分も相手も「お互いさ

ま」じゃないですか。世の中が便利になり、面倒なことをやらなくなったのも原因かな。

〇皆さんへのメッセージ

一人の時間も大切だけど、人と関わることも大切だと思います。すぐにできて、お金もかからないこと、「あいさつ」から始めてみてはどうでしょうか。勇気が必要だけど、声を出す。やってみる。小さなことでも積み重ねていくとすごく大きな力になるはずです。

NPO法人たけのこ会とは？

身体障害者が住み慣れた地域で、自立した生活を送ることを支援するため、地域作業所、グループホーム、居宅介護、相談援助などの事業を展開しています。

〈所在地〉上町3-8

〈連絡先〉TEL 823-3527 FAX 823-3568

※「地域福祉活動計画推進委員会」は、計画の推進と地域での福祉活動の根づきや広がりなどを確認しています。ここでは、一人ひとりが「住みやすい、横須賀を目指して、委員が日ごろ感じていることや皆さんに伝えたいことを紹介していきます。



平成21年度
第一報
(平成22年3月1日現在)

最終結果・詳細は次号(7月号)で

8,168万円

ご協力ありがとうございました。

※平成21年度共同募金の運動期間は平成21年10月1日から12月31日までですが、会計期間は平成22年3月31日までとなっております。募金の最終結果・詳細につきましては、次号(7月号)にてご報告させていただきます。



一日無料体験授業開催中!!

イトマンの授業を一度体験してみませんか。

●対象/全クラス

初めてイトマンの授業を受けられる方
※水泳に不適格な疾患のない方

電話予約制・お一人様1回限り

定員に限りがございます。お申し込みはお早めに!

正会員入会特典

1日無料体験授業受験後
正会員になられた方は

入会金
0円!



幼児・ジュニア
クラス

指定用品一式プレゼント!

ベビークラス

ヘルパー+スイミングキャップ
プレゼント!

大人クラス

ゴーグル+スイミングキャップ
プレゼント!

イトマンスイミングスクール横須賀校

横須賀市日の出町3-11
<http://www.e-itoman.co.jp/>

046-823-6170

横須賀市社協の福祉活動を応援してください!

賛助会員募集中

☆加入方法☆

お名前とご住所を、電話・はがき・FAX・Eメール等でお伝えください。三浦藤沢信用金庫と湘南信用金庫の振込用紙(両信用金庫のご協力により振込手数料が無料になります)を送付させていただきます。

個人会員 1 □ 1,000円

団体会員 1 □ 5,000円

*会費は年会費となっており、□数は何□でも結構です

〒238-0041 本町2-1 総合福祉会館2階
横須賀市社会福祉協議会 総務課
TEL 821-1301/FAX 827-0264
Eメール shakyo@wg7.so-net.ne.jp

横須賀市社協では、賛助会員を随時募集しています。

賛助会員は、市社協が地域福祉を進めていくための取り組みに対して、ご賛同いただける方々に会員としてご加入いただき、その会費を事業に活用させていただくことで、ご支援をいただくものです。

毎年度、賛助会員のみなさまのおかげで、充実した広報活動やボランティア関連事業を展開しています。みなさまのご支援をお待ちしています!

☆賛助会員のみなさまのご支援で次の事業を実施しています☆

社協だよりの発行(年4回)、ホームページの開設
ふれあいキャンプ、ボランティア体験、場づくりサロンの開催



ありがとう
ございます。

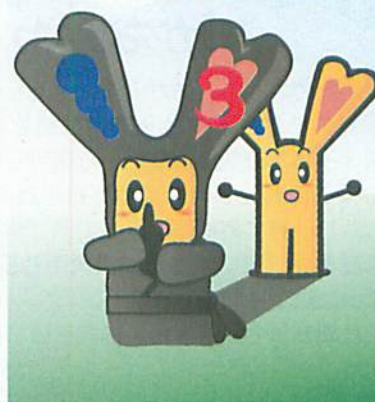


★ 団体 (38 団体)
ウィニング・ウィンド、三和保育園職員の皆様、ゆう、浦賀保育園、(福)海風会、(福)隆徳会、恵徳苑、(福)三春商会、やまびこ荘、清光ホーム、湘南ホーム、玉成保育園、横須賀愛光園、衣笠愛児園、サニーステージ野比海岸、しらかば保育園、横須賀ホームネット、共栄荘、共栄荘特養ホーム、(福)富士美、(福)横須賀精神保健ふれあいグループ、うらら、総合病院湘南病院、善隣園保育センター、第二湘南グリーン介護老人保健施設、喫茶レゼル、シャローム浦上台、(福)ユカリ、小光子愛育園、太陽の家二番館、(福)興寿会、(福)結いの会、介護老人保健施設衣笠うけん、(福)日本医療伝道会、衣笠ホーム、総合病院聖ヨセフ病院、ソレイユカーマ、太田和保育園、太陽の家

★ 個人 (83 件)
梅田英治、梅田和子、辻村房子、篠原久恒、井出聖子、大竹裕、大竹翼、小笹方士、吉田和子、松本康夫、山内雪枝、鈴木恒生、鈴木徳重、玉成保育園職員の皆様、森弘樹、成島奈緒美、秋元博、桑島裕一郎、加藤正憲、曾根ちづる、森雪子、小島美香、小光子愛育園職員の皆様、坪内正、小林勇次郎、藤沼直美、西脇由利子、広江久美子、佐々木清子、岩崎佳子、高橋明美、長谷川章子、菅原加奈、馬場直美、八田志延、曾田麻美、吉田美香、鈴木伊代、萩野智江、上野沙弓、高山里美、松本珠江、鈴木綾子、丸山洋子、西村廣美、三橋康子、筒井郭子

平成21年12月1日～平成22年2月28日
〈順不同・敬称略〉

賛助で参上!
社協活動応援団



賛助会員のご紹介

住宅ローン・消費者ローン等のご相談・お申込は
湘南しんきん各ローンセンターへ

ローンセンターは休日も営業しております。

■本 店ローンセンター 0120-413-357

■上大岡ローンセンター 0120-470-417

SHONAN

湘南信用金庫

ホームページアドレス
http://www.shinkin.co.jp/shonan

みんな!みんな!集まれ!!
(・ω・)/

ふれあいキャンプ実行委員 大募集!!

毎年夏、主に知的な障害のある小学校3年生～高校3年生の子どもたちと遊んだり、泊まりながら一緒に過ごす「ふれあいキャンプ」。

このキャンプの企画や準備、当日運営まで担当する、ふれあいキャンプ実行委員会のメンバーを募集します。実行委員会では、障害のことが分かる講座やボランティア講座も開きますので、今まで障害のある子どもたちと接したことがなくても、ボランティア活動をしたことがなくてもOKです!! d(≥▽≤)b

一つの目標に向かってみんなで力を合わせながら、自分の新たな一面を発見しませんか。

☆募集対象 福祉やボランティアに関心や興味がある高校生、大学生など25名

☆募集期間 4月5日(月)から4月28日(水)まで

☆キャンプ会場 鴨居コミュニティセンター(鴨居3-11-12、鴨居港そば)

☆その他 実行委員会の開催は、月に3～4回。(詳細はよこすかボランティアセンターまで)



はじける笑顔!!笑顔!!\(@~o~@)/

<前年度実行委員からのメッセージ>

○子どもたちとのふれあいからたくさんの元気をもらいました。(高校1年生)

○一つのことを企画する時、さまざまな視点で考えることが大切と感じました。(高校1年生)

○実行委員会を通じて出来た仲間との絆や関係性を今後も大切にしていきたいです。(大学1年生)

○積極的にリーダーシップをとる性格ではなかったのですが、実行委員メンバーの積極的な話し合いから、リーダーとしてグループをまとめる自覚が生まれました。(大学3年生)

～横須賀市社協も認定されました～ 「かながわ子育て応援団」

神奈川県では、子どもが安全に生活し健やかに育つこと、県民が安心して子どもを生み、育てることができる環境整備をするために、平成19年10月から「神奈川県子ども・子育て支援推進条例」が施行しています。

この条例にもとづいて、従業員のための子ども・子育て支援に取り組む事業者を「かながわ子育て応援団」として県が認証する制度があり、横須賀市内の複数の事業所が認証を受けています。横須賀市社協も平成22年1月25日付で「かながわ子育て応援団」に認定されました。

※認証事業者名や取り組み内容をはじめ、県内の子ども・子育て情報は、インターネットホームページ「子育て支援情報サービスかながわ」(<http://www.rakuraku.or.jp/kosodate/>)で見ることができます。



「かながわ子育て応援団」認証マーク

企画・デザイン・写真撮影から印刷まで

企画からデザイン、写真撮影、印刷、製本までの一貫した対応により、スピーディーかつローコスト化を実現します。高品質な仕上がりでお客様の要望にお応えします。

・チラシ広告 ・ポスター ・パンフレット ・冊子 ・記念誌
・名刺 ・伝票 ・カレンダー ・封筒 ・のぼり旗・幕 ・シール
・POP各種 ・販促物取付器具 ・写真撮影 ・ラミネートフィルム
・名入れグッズ各種 ・その他印刷物全般



企画・デザイン・印刷・製本
株式会社 アド・ワークス

〒239-0807 神奈川県横須賀市根岸町4-9-13
TEL.046-833-1010(代) FAX.046-833-0622
e-mail: eigyou@e-adworks.com



ボランティアコーナー

よこすかボランティアセンター

場 所 〒238-0041 横須賀市本町2-1 総合福祉会館4階
(汐入駅から徒歩6分「ショッピングプラザ横須賀」の右となり)

開 所 月曜日～土曜日 9時～17時(日曜日と祝日は休み)

電 話 (821) 1303 (825) 0017/FAX(824) 8110

E-mail shakyo-v@abox22.so-net.ne.jp

ホームページアドレス <http://www.yokosuka-shakyo.or.jp/vc/>

ボランティア大募集

1. 募集团体・わくわくフェスティバル実行委員会
内 容: イベント運営のお手伝い、販売のお手伝い、会場整理など
日 時: 5月8日(土) 9時～16時(荒天時のみ順延)
場 所: 妙真寺(公郷町5-6)
☆地域作業所と地域の方々との交流を目的としたイベントです。
2. 募集团体・メロディー
内 容: 外出介助
日 時: ①4月25日(日) 9時45分～16時
②5月23日(日) 9時45分～16時
場 所: ①しながわ水族館
②猿島
☆ダウン症のお子さんたちのグループです。



おもちゃの病院



開 院 日: 毎月第1土曜日(5月・6月・1月を除く)
平成22年4月3日★5月8日★6月6日★7月3日
8月7日★9月4日★10月2日★11月6日
12月4日

平成23年1月8日★2月5日★3月5日

受付時間: 10時～12時

場 所: よこすかボランティアセンター第1活動室

○6月6日は「やさしさ広げ」ふれあいフェスティバル
(受付時間13時～15時)で開院します。

○電池で動くおもちゃを持参する場合は、新しい電池をお持ちください。

○修理代は無料、部品交換の場合は実費負担をお願いします。

『ハンディキャブよこすか』 ボランティア大募集

～空いている時間にボランティアしてみませんか～

内 容: リフト付自動車または自家用車での送迎
対 象: 普通自動車運転免許をお持ちの75歳以下の方
日 時: 月～金の都合の良い時間
場 所: 横須賀市内および隣接市町

☆公共の交通機関
を利用できない
高齢者・障害の
ある方々を送迎
するボランティ
アグループです。



布おもちゃ親子サロン “ポケット”ひろば

布おもちゃを通じて子育て中の親子の交流を深めます。

開催日: 平成22年4月9日★5月14日★6月11日★7月9日
9月10日★10月8日★11月12日★12月10日
平成23年3月12日

※8月・1月・2月はお休みします。

時 間: 午前の部 10時～11時30分 午後の部 13時～14時30分

場 所: 総合福祉会館7階第2音楽室(4月は5階視聴覚研修室)

対 象: 0歳～6歳児(未就学児)を子育て中の親子

今年もやります!! 夏休みボランティア体験

夏休みにできるボランティア体験。小学生以上、親子での参加もできます。手話ダンス、フラダンス、布おもちゃ作り、サウンドテーブルテニス、誘導体験などいろいろなプログラムを予定しています。(詳細は次号でお知らせします)

水道・お湯の漏水 排水・下水の詰まりでお困りの時 お電話下さい!!

宅地内の修理のご依頼は、地元の
安心・安全な修理工事店へ!!

24 時 間
迅速対応

上下水道局
指定工事店

排水設備
指定工業者

365日対応

横須賀管工事協同組合 管工事サービスセンター ☎0120-229091





お気軽にご相談下さい

秘密厳守

※場所はいずれも総合福祉会館2階です。

相談日が祝日に当たる時はお休みとさせていただきます。／12時～13時はお昼休みとさせていただきます。

生活福祉資金貸付相談

所得の低い世帯、お年寄りや障害のある方の世帯を対象に、安定した生活を送ることができるよう資金貸付の相談を行っています。

【資金について】

①お困りの内容によって資金の種類が異なります(一般生活費の貸付はありません)。

②資金の種類によって民生委員による相談援助が行われます。

③原則として連帯保証人が必要です(市内在住の方)。

【予約制】窓口の相談は混雑していますので、お越しいただく前に必ず電話でご連絡ください。

●毎週月～金曜日

9時～17時

予約はTEL(821)1301
地域福祉課 生活福祉資金担当

介護相談

福祉機器や介護について介護福祉士がお答えします。

●毎週月～金曜日

10時～16時 福祉機器展示場
電話相談TEL(824)9436

住宅改造相談

ちょっとした工夫や改造をすることで、暮らしやすい家になることができます。

障害者や高齢者のより住みやすい環境をつくるために、神奈川県建築士事務所協会横須賀支部の建築士をはじめ、介護福祉士が相談に応じます。

【予約制】

●毎月第4水曜日

10時～15時
予約はTEL(821)1301

【よこすか福祉の輪市民会議 第3期活動報告会】

よこすか福祉の輪市民会議の2年間の活動報告を行います。市民会議委員以外の方の参加も大歓迎です。

日時：6月26日(土) 13時～15時

場所：総合福祉会館5階ホール

その他：事前申込み不要、参加費無料

報告内容

地域のコミュニケーションの場づくりの検討
地域で支え合う仕組みづくりの検討
町内会・自治会の魅力アップ策の検討
地域福祉に取り組む担い手づくりの検討
高齢者の経験・能力を地域で活用する方策の検討
ひとり暮らし高齢者などを日頃から見守る方策の検討
災害時に地域で活用できる事例集やマニュアルの検討
地域のできる子育て支援策の検討
地域のできる障害者支援策の検討

問合せ：横須賀市健康福祉総務課

TEL 822-8269

E-Mail hwg-hw@city.yokosuka.kanagawa.jp

「やさしさ広がれ」ふれあいフェスティバル ボランティア募集

(会場案内、キーワードゲーム係、模擬店売り子、写真・記録係)

日時：6月6日(日)
9時～16時(予定)

場所：総合福祉会館

申込み：4月30日(金)までに
よこすかボランティアセンターへ(7頁)



ありがとう

社会福祉のために、温かい寄付がありました。(敬称略)

平成21年12月1日～平成22年2月28日
浦賀第一民協OB会、清水昭三、天空若葉会、山本明、横須賀商工会議所女性会、吉田法子、日産労組、手話ダンスゆらぎ、御根岸工務店、いぎいき麻雀クラブ、バーラー風羅巴、三浦和子、船橋珠枝、神奈川県生命保険協会、(福)三育福祉会、大江希代子歌謡教室事務局、御根岸法人会、御根岸工務店協力会、菅宮建吉、横須賀市学童保育連絡協議会、三吉幸子、ボランティアサークルふれあい

上町第2地区VC、リッチランド、久保光夫、手話サークル逸見、シルバー人材センター、坂本春子、山崎峰崇、光美会、小関賢三、錦古里純子、野々山マサ、サークル你好、御東芝社会貢献室、大鋸美穂子、加藤礼子、横須賀市長寿社会課、御NTTドコモR&Dセンタ移動機開発部、大和証券グループ、渡辺訓宏、衣笠地区VC、長南友子、横須賀市都市施設公社、花見昌道、横川和司、徳嶺啓子、松生キヨ子、大橋地区VC、秦弘美、横須賀市健康福祉総務課、匿名

寄付金 28件、一〇五〇、〇二二円
物品 49件

あとがき

「欲しいのは優しい言葉だけ。近所で一人暮らしをする方が60代の時におしゃっていました。その方は今、70代です。」

横浜で一人で暮らす実家の母は、私が訪ねると「何もしくなくていいから、そばに座って話を聞いて」と言います。同居する80代の姑もテレビや新聞の話題など一日中話がつきなさそうです。でも、私はしなくてはならないことで頭が一杯でじつくりおしゃべりに付き合うことが出来ません。ごめんなさい。

「お年寄りから、深刻な悩みを相談されることがある」と、お店を営んでいる友人が言っているのを聞きました。現代で一番辛いことは「孤独」ではないかしらと思いました。

「社会から取り残されている」と感じたのは子育て中。子どもが乳児の時は思うように行動ができず社会の誰ともつながっていないと感じ、あせりました。でも年を重ねてからの「孤独」はもっともっと、恐ろしく寂しいものに違っています。

大家族が当たり前の昔は人間関係のわずらわしさも悩みだったでしょうが「孤独」を感じる余裕はなかったかもしれません。時計の針を戻す努力をしたり「昔は良かった」と言っても解決にはなりそうにもありません。この時代に生きていかなければならない私は覚悟を決め、「孤独」と向き合う心の持ち方を今から模索しなくては行けないのでしょう。孤独の最中にいるみなさんにとって少しでも温かなふれあいを感じる時があるように今は、祈るばかりです。(K)